

平成25年度

# 福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成26年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

福島県生活環境部  
一般廃棄物課

## 目次

第1編 本編 .....	1
1 福島県の一般廃棄物処理について .....	2
(1) 平成25年度一般廃棄物処理事業の概要 .....	2
(2) 福島県廃棄物処理計画 .....	5
2 福島県のごみ処理の状況 .....	6
(1) ごみの排出量について .....	7
(2) ごみの分別数の状況について .....	11
(3) ごみの処理状況について .....	12
(4) リサイクル率・資源化率について .....	14
(5) 最終処分場埋立量について .....	16
3 福島県のし尿処理の状況 .....	18
(1) 水洗化の状況について .....	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について .....	18
(3) 浄化槽の設置状況について .....	21
第2編 統計データ編 .....	23
1 平成25年度廃棄物処理事業経費 .....	24
2 平成25年度廃棄物処理事業委託・許可件数 .....	30
3 平成25年度廃棄物処理業者及び従業員の状況 .....	31
4 平成25年度ごみ処理の概要 .....	32
5 平成25年度ごみ搬入量の内訳 .....	36
6 平成25年度ごみ処理量の内訳 .....	43
7 平成25年度資源化量の内訳 .....	46
8 平成25年度ごみ処理手数料の状況（生活系） .....	50
9 平成25年度ごみ処理手数料の状況（事業系） .....	58
10 平成25年度ごみの収集運搬体制の状況（生活系） .....	66
11 平成25年度ごみの収集運搬体制の状況（事業系） .....	76
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況 .....	86
13 市町村における生ごみ処理機（コンポスト容器も含む）普及促進策 .....	87
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況 .....	90
15 平成25年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧（国費による助成事業） .....	91
16 平成25年度水洗化人口等の状況 .....	92
17 平成25年度し尿処理の状況 .....	94
第3編 資料編 .....	97
1 一般廃棄物処理施設の状況 .....	98
2 市町村廃棄物関係担当課一覧 .....	112
3 一部事務組合一覧 .....	114

# 第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成25年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成25年10月1日現在の福島県の人口は1,963,872人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,782.75km<sup>2</sup>)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成26年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、13組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成25年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約254億円で、前年度(約253億円)と比較すると約0.3%増加しています。

表-1 平成25年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 21,289,535			し尿処理経費 4,065,921		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
25,355,456 (25,278,867)	880,083 (1,650,126)	19,153,910 (18,562,074)	1,255,542 (839,893)	88,219 (488,461)	3,642,315 (3,470,123)	335,387 (268,190)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

( )の数値は平成24年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成25年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は606、その従業員数は5,553人となっており、前年度と比較すると、業者数は横ばいとなっていますが、従業員数は大きく増加しています。

表-2 平成25年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
606 (607)	481 (487)	101 (94)	24 (26)	5,553 (4,896)	4,717 (4,213)	828 (686)	11 (12)

(注1)( )内は平成24年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成25年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は110施設で、ごみ処理施設が64施設、し尿処理施設が24施設、一般廃棄物最終処分場が22施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成25年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	23	3,006 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	490 (t/日)
	資源化施設	27	312.5 (t/日)
	小計	64	
し尿処理施設	し尿処理施設	22	2,106 (kg/日)
	コミュニティプラント	2	計画処理人口5,540人
	小計	24	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 1,186千㎡ 残余年数 13.5年
合計		110	

(注) 残余年数は、残余容量を平成25年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

ごみ処理の有料化状況については、資源ごみを除き4割以上の市町村において、また、事業系ごみは9割近くの市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村(委託を含む)で有料化されています。

表-4 平成25年度ごみ処理有料化の状況

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		27 (45.8%)	50 (84.7%)
不燃ごみ		27 (45.8%)	48 (81.4%)
資源ごみ	紙 (紙パック、紙製容器包装を除く)	0 (0.0%)	16 (27.1%)
	紙パック	0 (0.0%)	15 (25.4%)
	紙製容器包装	4 (6.8%)	15 (25.4%)
	金属	13 (22.0%)	19 (32.2%)
	ガラス	13 (22.0%)	19 (32.2%)
	ペットボトル	13 (22.0%)	19 (32.2%)
	白色トレイ	12 (20.3%)	19 (32.2%)
	容器包装プラスチック	14 (23.7%)	20 (33.9%)
	プラスチック (白色トレイ、容器包装プラスチックを除く)	9 (15.3%)	11 (18.6%)
	布類	0 (0.0%)	5 (8.5%)
	生ごみ	0 (0.0%)	1 (1.7%)
	その他	1 (1.7%)	6 (10.2%)
その他収集ごみ		2 (3.4%)	7 (11.9%)
粗大ごみ		24 (40.7%)	33 (55.9%)

(注1)割合の分母は平成25年度末現在の市町村数で59です。

(注2)資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には廃食油、剪定枝、小型家電等です。

(注3)「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表-5 平成25年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	39 (66.1%)	5 (8.5%)	0
浄化槽汚泥	40 (67.8%)	4 (6.8%)	0

(注)割合の分母は平成25年度末現在の市町村数で59です。(他13市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

## (2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、平成14年3月に策定し、平成18年3月の見直し後、平成23年3月には平成23年度から5年間の計画期間で策定しました。

その後、廃棄物処理法及び各種リサイクル法等の改正や東日本大震災の発生といった状況の変化を踏まえ、平成27年3月に地球温暖化対策にも配慮した循環型社会形成の取組を強化していくという基本的な考え方の下、東日本大震災以降の廃棄物処理の現況等を反映させつつ、平成27年度以降の新たな廃棄物処理計画を策定しました。

### ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみの発生抑制や最終処分量の削減を推進するための施策を引き続き実施していくとともに、リサイクル率向上のための施策の充実を図ることが必要です。
- ②既存施設の長寿命化や延命化、地球温暖化対策に配慮した施設への転換や災害への対応を考慮した施設整備、原発事故に伴う避難区域帰還後のゴミ処理体制の再構築が必要です。
- ③大規模な災害発生時の廃棄物処理対策が円滑に進むよう、災害廃棄物処理計画の策定や見直しの検討、ごみの不適正処理防止の普及啓発や不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

### イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の3つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- |                          |
|--------------------------|
| ①3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進 |
| ②ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進   |
| ③ごみの適正処理の推進              |

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成32年度における目標値）  
県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| ①1人1日当たりのごみの排出量 | 935g/人・日以下 |
| ②リサイクル率         | 21.0%以上    |
| ③1日当たりの最終処分量    | 200t/日以下   |

### エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

① 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進

- 意識啓発の推進
- ごみの発生抑制（リデュース）の推進
- 再使用（リユース）の推進
- 再生利用（リサイクル）の促進
- ごみ処理有料化の取組促進

② ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進

- ごみ処理施設の長寿命化と延命化
- 廃棄物系バイオマス利活用のための施設設置の促進

③ ごみの適正処理の推進

- 災害廃棄物の適正処理の促進
- 不適正処理防止のための環境づくり

2 福島県のごみ処理の状況

平成25年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

1 ごみの排出量

(1) 排出量

**777,051 (t/年)** 【前年度 790,574 t/年】

前年度と比較すると 13,523 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値 935 g/人・日以下】

**1,084 (g/人・日)** 【前年度 1,094 g/人・日】

前年度と比較すると 10 g 減少していますが、目標値と比較すると 149 g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値 21.0%以上】

**13.8 (%)** 【前年度 13.7%】

前年度と比較すると 1 ポイント増加しており、目標値との比較では 7.2 ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

**83,015 (t/年)** 【前年度 89,946 t/年】

前年度と比較すると 6,931 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値 200 t/日以下】

**228 (t/日)** 【前年度 246 t/日】

前年度と比較すると 18 t 減少しています。目標値と比較すると 28 t オーバーしています。



(1) ごみの排出量について

平成25年度におけるごみの総排出量は777,051 tで、1人1日当たりに換算すると1,084 gとなります。これを全国平均の958 gと比較すると126 g多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが563,548 t、事業系ごみが213,503 tと、前年度と比較して、事業系ごみが量・割合とも減少しています。

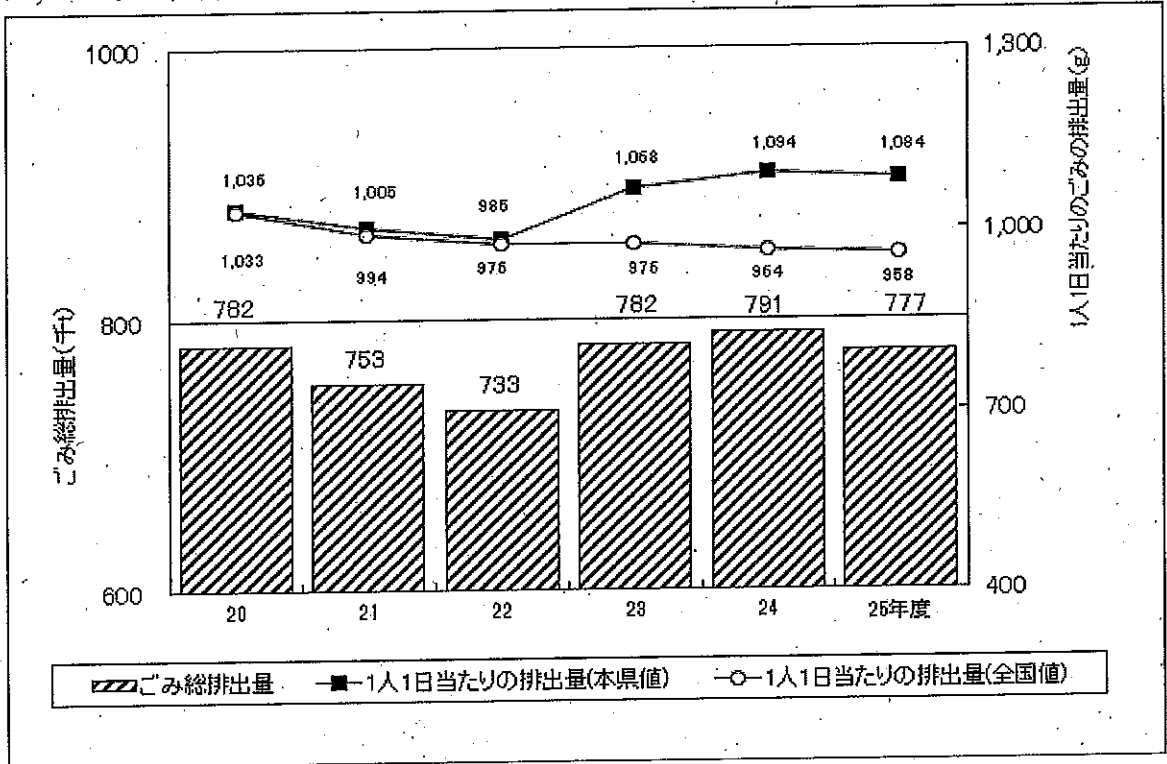


図-1 ごみの排出量の推移

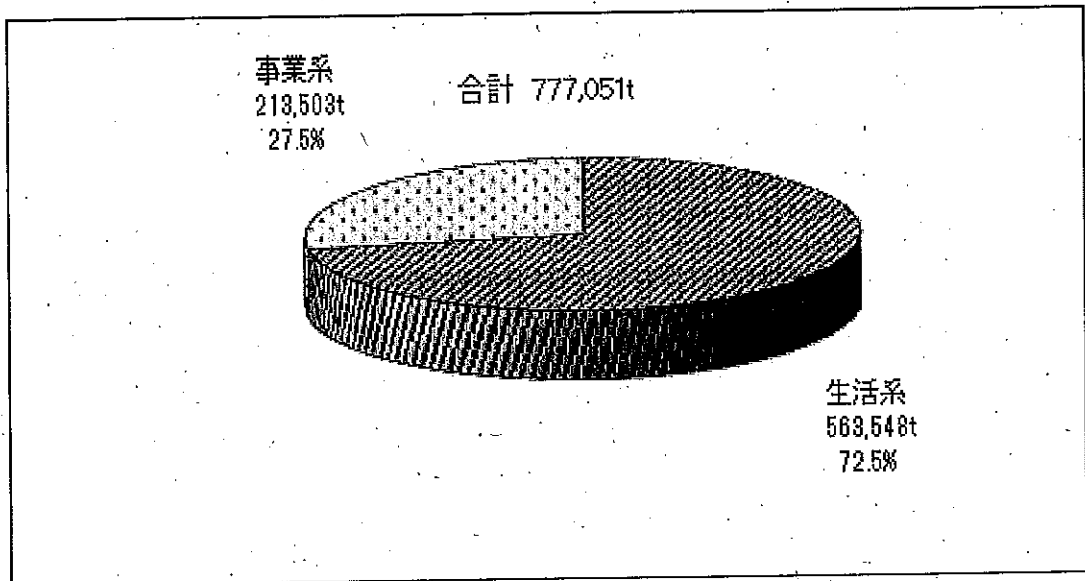


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成24年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりです。

平成24年度に引き続き、平成25年度も多く市の町村で排出量が増加する傾向にあります。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H25年度	H24年度	順位	市町村名	対前年度比	H25年度	H24年度
1	須賀川市	-146	1,021	1,167	31	伊達市	28	1,101	1,072
2	郡山市	-144	1,310	1,454	32	田村市	32	806	774
3	本宮市	-140	875	1,015	33	小野町	33	833	800
4	広野町	-127	926	1,053	34	鮫川村	36	502	465
5	古殿町	-46	659	706	35	只見町	38	1,017	980
6	三春町	-45	957	1,002	36	二本松市	40	918	878
7	西郷村	-43	839	882	37	泉崎村	41	678	636
8	塙町	-32	935	966	38	会津若松市	42	1,219	1,178
9	南会津町	-28	1,118	1,147	39	川俣町	45	1,185	1,140
10	棚倉町	-27	943	970	40	金山町	46	711	665
11	鏡石町	-21	865	886	41	浅川町	51	843	793
12	矢祭町	-14	609	623	42	猪苗代町	55	1,166	1,111
13	磐梯町	-6	908	913	43	大玉村	60	1,133	1,072
14	下郷町	-3	1,046	1,049	44	天栄村	60	909	849
15	いわき市	-2	1,153	1,155	45	川内村	75	551	476
16	檜枝岐村	0	1,299	1,300	46	北塩原村	76	1,144	1,068
17	飯館村	1	23	22	47	柳津町	77	735	658
18	中島村	3	491	488	48	南相馬市	84	1,031	947
19	石川町	4	852	848	49	昭和村	84	840	756
20	新地町	8	728	720	50	国見町	95	1,102	1,007
21	矢吹町	12	838	826	51	三島町	115	896	782
22	桑折町	12	1,129	1,117	52	喜多方市	119	1,007	888
23	西会津町	13	818	805	53	相馬市	143	1,142	999
24	会津坂下町	14	842	829	54	楢葉町	654	654	0
25	福島市	16	1,293	1,277		葛尾村	16	0	16
26	白河市	23	949	926		大熊町	1	1	0
27	平田村	24	649	624		富岡町	0	0	0
28	玉川村	26	808	782		双葉町	0	0	0
29	会津美里町	28	960	932		浪江町	0	0	0
30	湯川村	28	788	760					
					※		汚染廃棄物対策指定地域		
					※		一部汚染廃棄物対策地域		

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

表-7 1人1日当たりのごみの排出量(単位:g)

(1) 人口5万人以上  
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	918
2	白河市	949
3	喜多方市	1,007
4	須賀川市	1,021
5	南相馬市	1,031
6	伊達市	1,101
7	いわき市	1,153
8	会津若松市	1,219
9	福島市	1,293
10	郡山市	1,310
	平均	1,183

(3) 人口5千人~1万人未満  
(18町村)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	223
2	中島村	491
3	矢祭町	609
4	平田村	649
5	糺葉町	654
6	古殿町	659
7	泉崎村	678
8	新地町	728
9	玉川村	808
10	西会津町	818
11	浅川町	843
12	天栄村	909
13	広野町	926
14	塙町	935
15	下郷町	1,046
16	国見町	1,102
17	大玉村	1,133
	双葉町	0
	平均	786

(5) 全市町村  
(59市町村)



順位	市町村名	排出量
1	飯館村	223
2	中島村	491
3	鮫川村	502
4	川内村	551
5	矢祭町	609
6	平田村	649
7	糺葉町	654
8	古殿町	659
9	泉崎村	678
10	金山町	711
11	新地町	728
12	柳津町	735
13	湯川村	788
14	田科市	806
15	玉川村	808
16	西会津町	818
17	小野町	833
18	矢吹町	838
19	西郷村	839
20	昭和村	840
21	会津坂下町	842
22	浅川町	843
23	石川町	852
24	鏡石町	865
25	本宮市	875
26	三島町	896
27	磐梯町	908
28	天栄村	909
29	二本松市	918
30	広野町	926
31	塙町	935
32	棚倉町	943
33	白河市	949
34	三春町	957
35	会津美里町	960
36	喜多方市	1,007
37	只見町	1,017
38	須賀川市	1,021
39	南相馬市	1,031
40	下郷町	1,046
41	伊達市	1,101
42	国見町	1,102
43	南会津町	1,118
44	桑折町	1,129
45	大玉村	1,133
46	相馬市	1,142
47	北塩原村	1,144
48	いわき市	1,153
49	猪苗代町	1,166
50	川俣町	1,185
51	会津若松市	1,219
52	福島市	1,293
53	檜枝岐村	1,299
54	郡山市	1,310
	大熊町	0
	浪江町	0
	富岡町	0
	双葉町	0
	葛尾村	0
	平均	1,084

(2) 人口1万人~5万人未満  
(19市町村)

順位	市町村名	排出量
1	田科市	806
2	小野町	833
3	矢吹町	838
4	西郷村	839
5	会津坂下町	842
6	石川町	852
7	鏡石町	865
8	本宮市	875
9	棚倉町	943
10	三春町	957
11	会津美里町	960
12	南会津町	1,118
13	桑折町	1,129
14	相馬市	1,142
15	猪苗代町	1,166
16	川俣町	1,185
	大熊町	0
	浪江町	0
	富岡町	0
	平均	922

(4) 人口5千人未満  
(12町村)

順位	市町村名	排出量
1	鮫川村	502
2	川内村	551
3	金山町	711
4	柳津町	735
5	湯川村	788
6	昭和村	840
7	三島町	896
8	磐梯町	908
9	只見町	1,017
10	北塩原村	1,144
11	檜枝岐村	1,299
	葛尾村	0
	平均	822

※  汚染廃棄物対策指定地域  
 ※  一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国平均 958g/人・日  
 1位 奈良県野迫川村 212.0g/人・日  
 2位 徳島県神山町 259.2g/人・日  
 3位 長野県川上村 286.5g/人・日

(注) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は23市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が345g(29.5%)少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の太字部分及び第2編統計データ編「8 平成25年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量

(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	823 (23)	1,168 (32)	-345
人口50,000人以上の市町村の排出量	949 (1)	1,194 (9)	-245
人口10,000~50,000人の市町村の排出量	855 (8)	1,047 (8)	-191
人口5,000~10,000人の市町村の排出量	675 (11)	964 (6)	-289
人口5,000人未満の市町村の排出量	522 (2)	902 (9)	-379

(注1)( )内は市町村数

(注2)原発事故による避難のためごみの排出がない又は原発事故の影響でごみの排出量が事故前と比較して大幅に減少している町村のデータを除く。

(2) ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成9年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成25年度の状況は表-9のとおりであり、分別数は19区分から2区分までとなっています。

表-9 ごみの分別数の状況

分別数	市町村名	市町村数
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
18	三春町	1
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、檜枝岐村	6
16	鏡石町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、南相馬市、飯館村	6
15	国見町、田村市、小野町、天栄村、西会津町、磐梯町、檜葉町、新地町	8
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、北塩原村、柳津町、三島町、富岡町、いわき市	14
13	郡山市、桑折町、湯川村、只見町	4
12	福島市、白河市、相馬市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	7
11	川俣町、昭和村	2
10	金山町	1
7	喜多方市、広野町、川内村	3
2	葛尾村	1
収集なし	大熊町、双葉町、浪江町	3

(注1)分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2)合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成25年度のごみ処理フローは、次項の図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は749,789 tで、このうち、直接焼却処理された量は640,065 t (85.4%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は75,276 t (10.0%)となっています。

最終処分された量は83,015 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が79,229 t (95.4%)、直接最終処分された量が3,786 t (4.6%)となっています。

総資源化量は107,678 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が30,662 t (28.5%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が47,750 t (44.3%)、集団回収量が29,266 t (27.2%)となっています。

処理人口等 (単位 : 千人)

処理系統図 (単位 : t / 年)

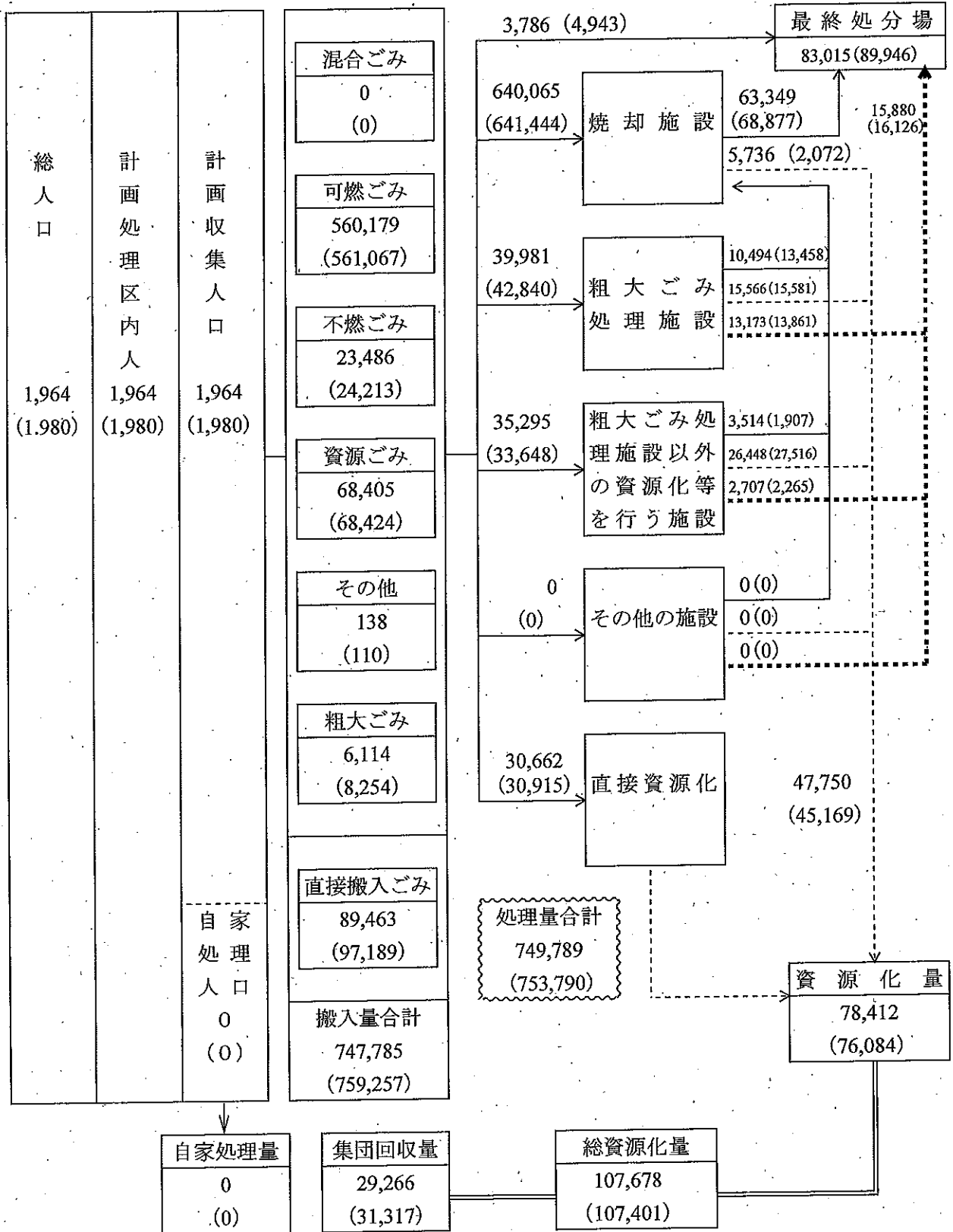


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) ( ) 内は平成24年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率は、平成19年度から下降傾向となっておりましたが、平成25年度は0.1ポイント増加しております。

資源化率も、リサイクル率と同様平成19年度から下降傾向となっておりましたが、こちらも平成25年度は0.4ポイント増加しております。

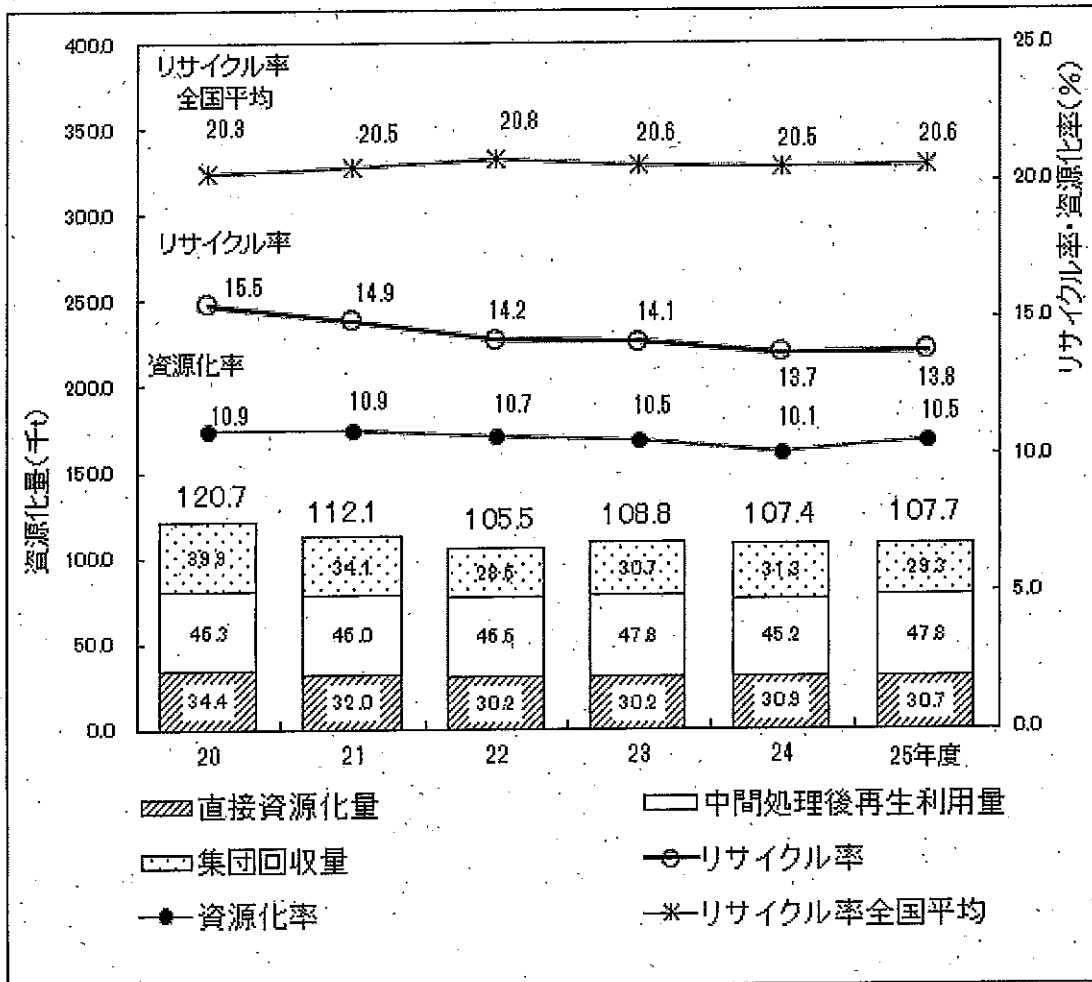


図-4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$



○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率(単位:%)

(1) 人口5万人以上  
(10市)

順位	市町村名	リサイクル率
1	いわき市	18.3
2	二本松市	17.1
3	会津若松市	16.6
4	南相馬市	14.1
5	須賀川市	13.7
6	喜多方市	13.6
7	伊達市	12.2
8	郡山市	12.1
9	福島市	10.9
10	白河市	10.4
	平均	13.9

(3) 人口5千人~1万人未満  
(18町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	30.2
2	西会津町	18.4
3	大玉村	16.3
4	新地町	16.0
5	国見町	14.9
6	下郷町	14.3
7	中島村	13.9
8	泉崎村	13.5
9	矢祭町	13.1
10	天栄村	12.8
11	平田村	12.2
12	玉川村	12.1
13	古殿町	11.9
14	浅川町	11.6
15	塙町	5.6
16	広野町	1.6
	檜葉町	0.0
	双葉町	0.0
	平均	11.5

(5) 全市町村  
(59市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	30.2
2	三春町	22.3
3	檜枝岐村	20.2
4	小野町	18.8
5	田村市	18.7
6	西会津町	18.4
7	いわき市	18.3
8	二本松市	17.1
9	猪苗代町	17.0
10	湯川村	16.9
11	会津若松市	16.6
12	大玉村	16.3
13	新地町	16.0
14	会津坂下町	16.0
15	昭和村	16.0
16	本宮市	15.8
17	鏡石町	15.5
18	桑折町	15.2
19	国見町	14.9
20	下郷町	14.3
21	会津美里町	14.2
22	南相馬市	14.1
23	三島町	14.1
24	中島村	13.9
25	須賀川市	13.7
26	喜多方市	13.6
27	泉崎村	13.5
28	相馬市	13.4
29	矢祭町	13.1
30	天栄村	12.8
31	鮫川村	12.5
32	伊達市	12.2
33	平田村	12.2
34	玉川村	12.1
35	郡山市	12.1
36	古殿町	11.9
37	浅川町	11.6
38	南会津町	11.0
39	只見町	10.9
40	福島市	10.9
41	矢吹町	10.7
42	石川町	10.7
43	西郷村	10.5
44	白河市	10.4
45	棚倉町	10.3
46	川俣町	8.2
47	柳津町	6.2
48	塙町	5.6
49	金山町	5.5
50	磐梯町	5.0
51	北塩原村	4.4
52	川内村	3.8
53	広野町	1.6
	檜葉町	0.0
	大能町	0.0
	富岡町	0.0
	双葉町	0.0
	浪江町	0.0
	葛尾村	0.0
	平均	13.8

(2) 人口1万人~5万人未満  
(19市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	22.3
2	小野町	18.8
3	田村市	18.7
4	猪苗代町	17.0
5	会津坂下町	16.0
6	本宮市	15.8
7	鏡石町	15.5
8	桑折町	15.2
9	会津美里町	14.2
10	相馬市	13.4
11	南会津町	11.0
12	矢吹町	10.7
13	石川町	10.7
14	西郷村	10.5
15	棚倉町	10.3
16	川俣町	8.2
	大能町	0.0
	富岡町	0.0
	浪江町	0.0
	平均	14.4

(4) 人口5千人未満  
(12町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	20.2
2	湯川村	16.9
3	昭和村	16.0
4	三島町	14.1
5	鮫川村	12.5
6	只見町	10.9
7	柳津町	6.2
8	金山町	5.5
9	磐梯町	5.0
10	北塩原村	4.4
11	川内村	3.8
	葛尾村	0.0
	平均	9.5

※ 汚染廃棄物対策指定地域  
※ 一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国ベスト3

- 1位 鹿児島県大崎町 80.0%
- 2位 鹿児島県志布志市 76.8%
- 3位 徳島県上勝町 76.4%

(5) 最終処分場埋立量について

平成25年度の最終処分量は83.0千tと減少しており、前年度の89.9千tと比較すると6.9千t減少しています。(1日当たりでは18.9tの減少)

また、直接最終処分量も3.8千tと減少しており、前年度の4.9千tと比較すると1.2千tの減少となっています。

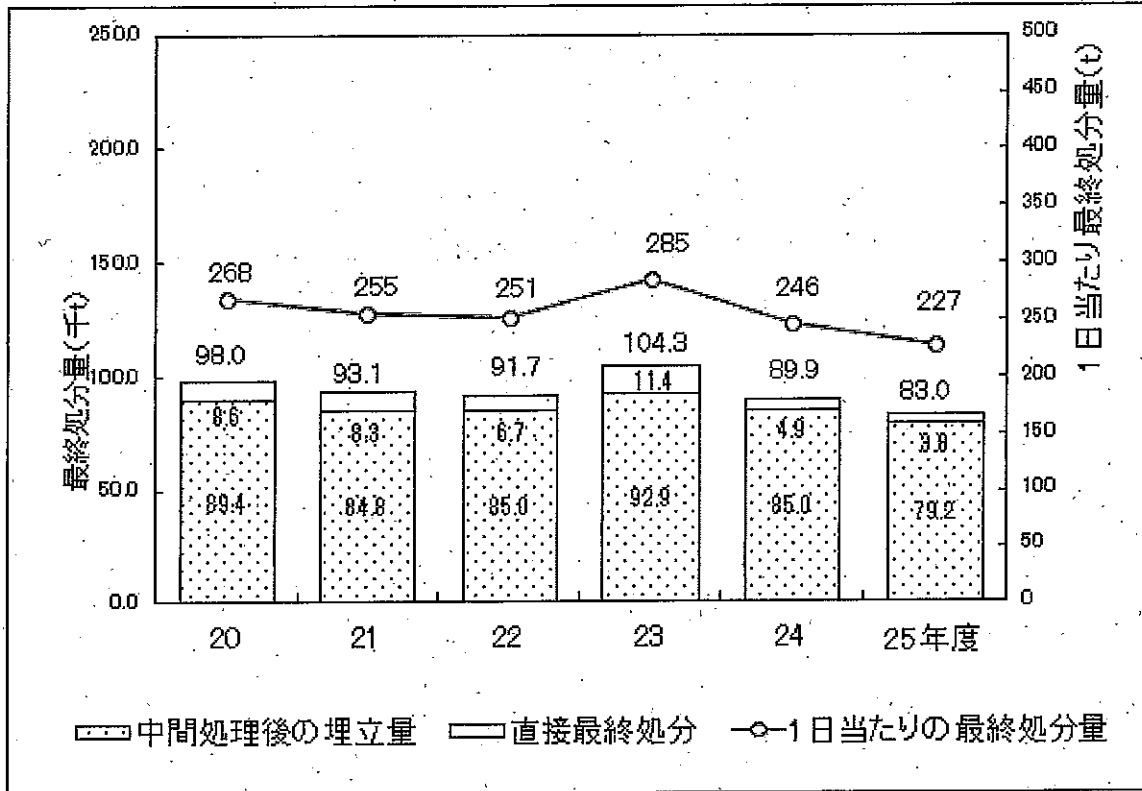


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
a 総人口(人)	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	
b 計画処理区域内人口(人)	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	
c 計画収集人口(人)	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	20,257,782	19,143,535	18,581,156	20,512,037	21,052,093	21,289,535	
f 建設改良費(千円)	2,170,532	577,081	997,256	2,165,024	1,650,126	880,083	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	17,390,521	17,861,949	17,154,952	18,005,927	18,562,074	19,153,910	
h その他(千円)	696,729	704,505	428,948	341,086	839,893	1,255,542	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	9,804	9,328	9,111	10,250	10,633	10,841	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,417	8,704	8,412	8,998	9,375	9,753	
k 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	23,486	24,918	23,958	24,226	24,625	25,546	
l ごみ総排出量(t/年)	781,583	753,095	733,364	782,473	790,574	777,051	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,036	1,005	985	1,068	1,094	1,084	
n 計画収集量(t/年)	741,643	718,971	704,728	751,743	759,257	747,785	
o 収集ごみ量(t/年)	680,404	659,101	646,441	670,389	662,068	658,322	
p 直接搬入量(t/年)	61,239	59,870	58,287	81,354	97,189	89,463	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	522,288	511,511	507,333	549,636	536,830	534,282	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	219,355	207,460	197,395	202,107	222,427	213,503	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	740,461	716,832	716,037	743,240	753,790	749,789	
u 直接焼却量(t/年)	625,953	609,416	609,443	620,108	641,444	640,065	
v 直接埋立量(t/年)	8,572	8,274	6,678	11,360	4,943	3,786	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	71,489	67,182	69,626	81,546	76,488	75,276	
x 直接資源化量(t/年)	34,447	31,960	30,290	30,226	30,915	30,662	
y 資源化量(t/年)	80,712	77,988	76,867	78,053	76,084	78,412	
z 集団回収量(t/年)	39,940	34,124	28,636	30,730	31,317	29,266	
aa 資源化率(%)	10.9	10.9	10.7	10.5	10.1	10.5	
ab リサイクル率(%)	15.5	14.9	14.2	14.1	13.7	13.8	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	268	255	251	285	246	227	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,033	994	976	976	964	958
	資源化率(%)	15.2	15.4	15.7	15.5	15.5	15.8
	リサイクル率(%)	20.3	20.5	20.8	20.6	20.5	20.6

(注)  $i = (e/b) \times 1,000$  $j = (g/b) \times 1,000$  $k = (g/t) \times 1,000$  $l = n + z$  $m = (l/b/365) \times 1,000,000$  ※平成19年度及び平成23年度は「365」を「366」として計算した。 $n = q + r$  $aa = (y/t) \times 100$  $ab = (y+z)/(t+z) \times 100$

### 3 福島県のし尿処理の状況

#### (1) 水洗化の状況について

平成25年度の水洗化率は89.1%で、うち下水道による水洗化率は45.7%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は43.4%（うち合併処理浄化槽による水洗化率は25.2%）となっています。（P20 参照）

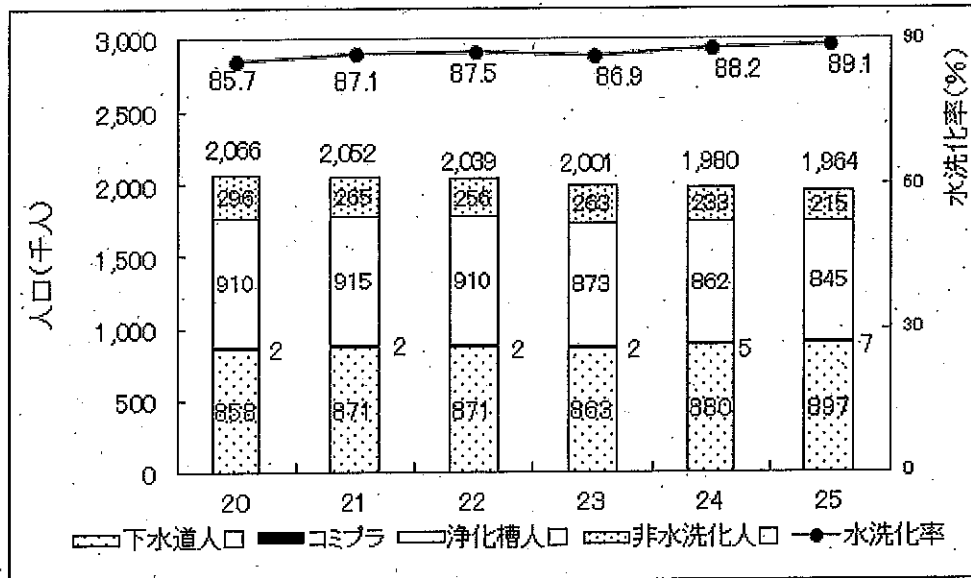


図-6 水洗化人口等の推移

#### (2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成25年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は612,357 kℓで、前年度の587,739 kℓと比較すると24,618 kℓ増加しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は564,493 kℓ（92.2%）、下水道投入等が46,383 kℓ（7.6%）、自家処理量が1,481 kℓ（0.2%）となっています。し尿処理施設の復旧に伴いし尿処理施設等における処理量が回復傾向にあります。

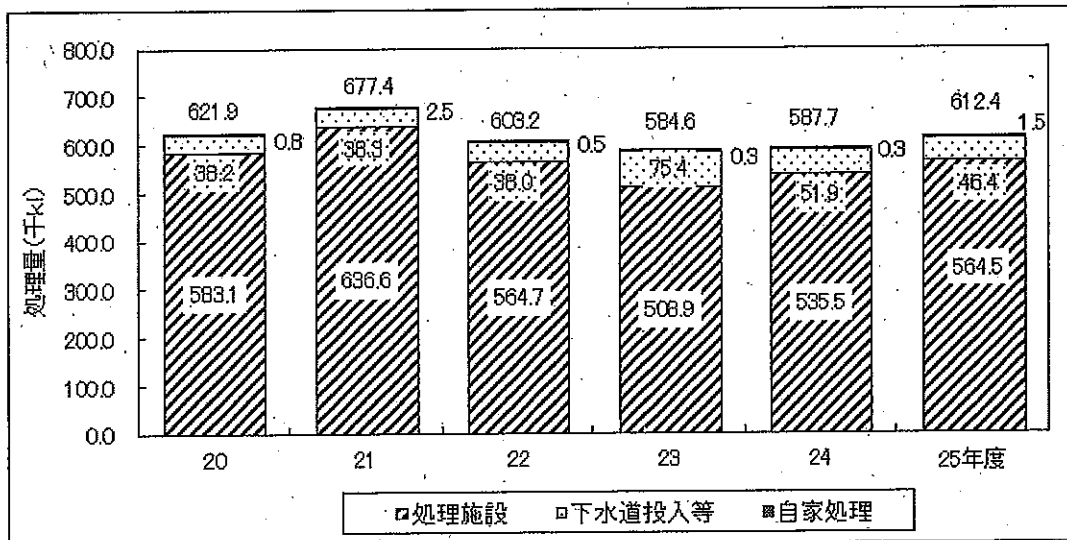


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：k l / 年)

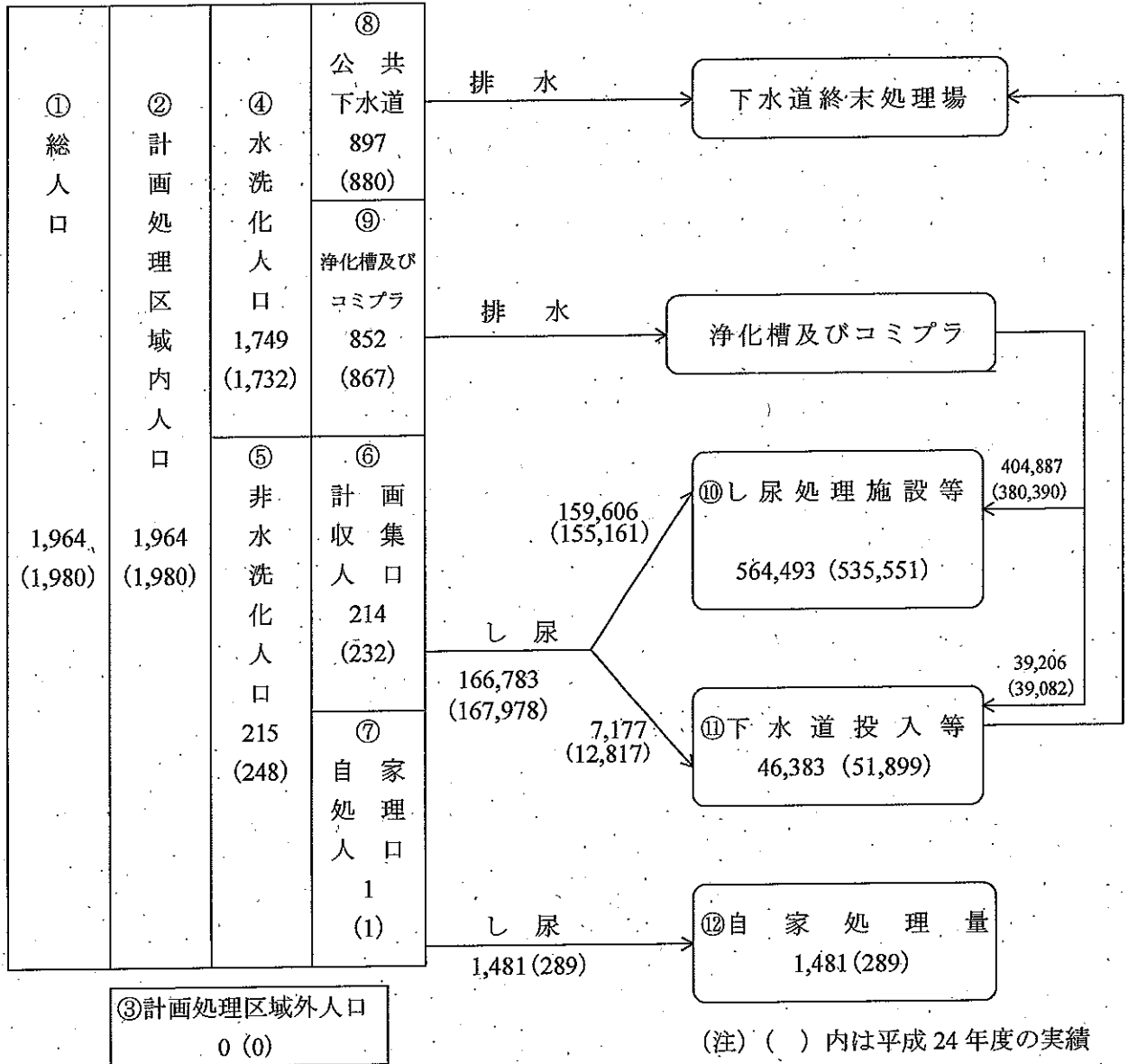


図-8 し尿処理のフロー図

表-12 し尿処理の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
a 総人口(人)①	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872
b 計画処理区域内人口(人)②	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872
c 水洗化率(%)	85.7	87.1	87.5	86.9	88.2	89.1
d 水洗化人口(人)④	1,770,060	1,787,668	1,783,469	1,738,459	1,747,303	1,749,237
e 公共下水道人口(人)⑧	857,566	870,655	871,038	863,659	879,940	897,303
f コミュニティプラント人口(人)⑨	2,426	2,609	2,627	2,631	5,249	6,970
g 浄化槽人口(人)⑩	910,068	914,404	909,804	872,169	862,114	844,964
h 合併処理浄化槽人口(人)	471,222	490,624	488,291	450,388	481,306	494,402
i 非水洗化率(%)	14.3	12.9	12.5	13.1	11.8	10.9
j 非水洗化人口(人)⑤	296,162	264,514	255,876	262,743	232,661	214,635
k 計画収集人口(人)⑥	294,666	263,256	254,654	261,861	231,709	214,067
l 自家処理人口(人)⑦	1,496	1,258	1,222	882	952	568
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	621,974	677,407	603,235	584,628	587,551	612,357
n し尿処理量(kl/年)	621,974	677,407	603,235	584,628	587,739	612,357
o 計画処理量(t/年)	621,304	674,858	602,717	584,312	587,450	610,876
p し尿処理施設(kl/年)	583,090	636,587	564,705	508,911	535,551	564,493
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	0	0	0	0
r 下水道投入(kl/年)	38,214	38,271	38,012	75,310	51,751	46,383
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	9	0	0
t その他(kl/年)	0	0	0	82	148	0
u 自家処理量(kl/年)	670	2,549	518	316	289	1,481

(注)  $c = (d/b) \times 100$   
 $i = (j/b) \times 100$

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%)	公共下水道水洗化率 ⑧/①= 45.7%( 44.4%)
水洗化率 ④/①= 89.1%( 88.2%)	浄化槽及びコミュニティプラ水洗化率 ⑨/①= 43.4%( 43.8%)
非水洗化率 ⑤/①= 10.9%( 11.8%)	(対非水洗化人口)
計画収集率 ⑥/①= 10.9%( 11.7%)	計画収集率 ⑥/⑤= 99.7%( 99.6%)
自家処理率 ⑦/①= 0.0%( 0.0%)	自家処理率 ⑦/⑤= 0.3%( 0.4%)

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-13のとおり平成19年度以降は減少傾向でしたが、平成23年度から上昇に転じ、平成25年度は前年度の新規設置基数を422基上回り、4,856基（対前年度比109.5%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9のとおり、平成14年度をピークに減少に転じており、その後平成17年度以降は横ばい傾向となっています。

平成25年度の浄化槽設置基数は271,131基で、そのうち単独処理浄化槽が166,749基と61%を占めています。

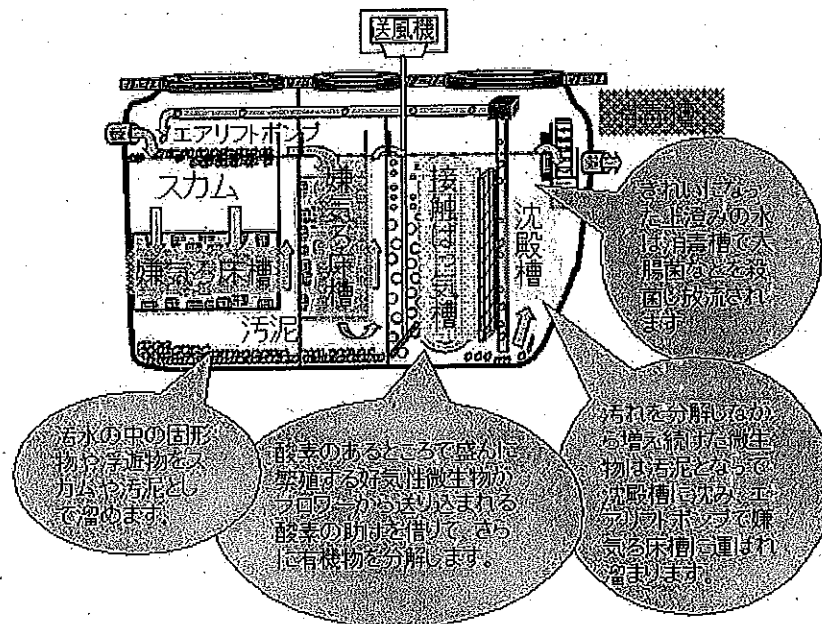
表-13 年度別新規設置基数

年度	20	21	22	23	24	25
基数	4,221	3,894	3,645	4,383	4,434	4,856

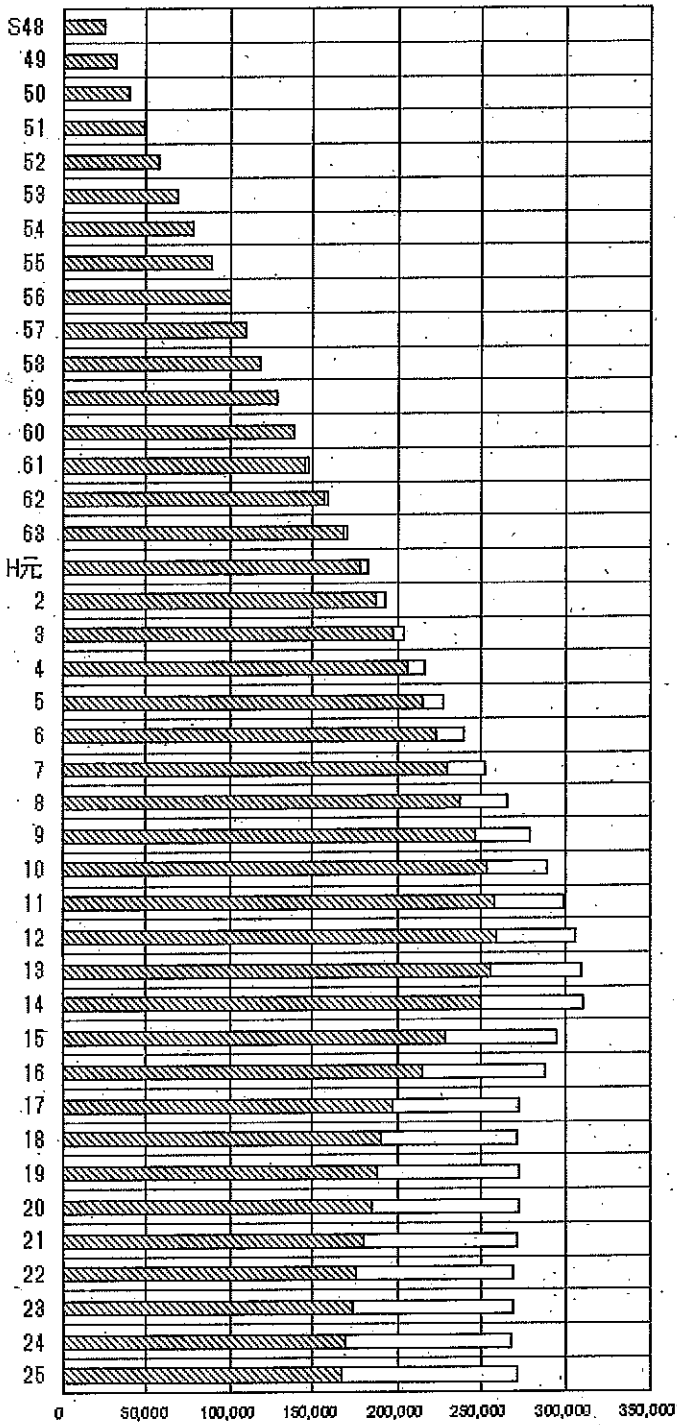
表-14 平成25年度末人槽別設置基数

人槽規模	5~20	21~100	101~200	201~500	501~	合計
基数	250,583	17,591	1,505	1,035	417	271,131

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）



(年度)



(基数)

▨ 单独处理净化槽  
□ 合併处理净化槽

年度	单独处理净化槽	合併处理净化槽	合計
昭和48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299
24	168,618	99,489	268,107
25	166,749	104,382	271,131

図-9 浄化槽設置基数の推移